

*当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投資/内外/資産複合	
信託期間	2021年5月11日から2031年4月30日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「V.L.グローバルバランスマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)」への投資を通じて、リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準(20%程度)以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引(S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物)と先進国債券の債券先物取引(米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物)の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指します。 ・参照指数は、先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数(円換算)です。 <為替ヘッジあり> ・実質組入れの外資建資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替ヘッジを行います。 <為替ヘッジなし> ・実質組入れの外資建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 	
主要投資対象	パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン(為替ヘッジあり)	マザーファンドを主要投資対象とします。
	パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン(為替ヘッジなし)	
	V.L.グローバルバランスマザーファンド	先進国株式の株価指数先物と先進国債券の債券先物を主要投資対象とします。また米国短期国債に投資する投資信託証券や米国株式指数のプット・オプションにも投資を行います。なお、株式、公社債、短期金融資産に直接投資することもできます。
組入制限	パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン(為替ヘッジあり)	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・マザーファンド以外の投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外資建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
	パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン(為替ヘッジなし)	
	V.L.グローバルバランスマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外資建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
分配方針	年2回(3月29日および9月29日、休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

第1期

(決算日: 2021年9月29日)

パインブリッジ・ デیلیー・ミックス・ オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

—— 受益者のみなさまへ ——

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、2021年9月29日に第1期の決算を行いましたので、第1期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号 / 03-5208-5858

(受付時間 / 9:00~17:00 (土、日、祝休日を除く))

ホームページ / <https://www.pinebridge.co.jp/>

目次

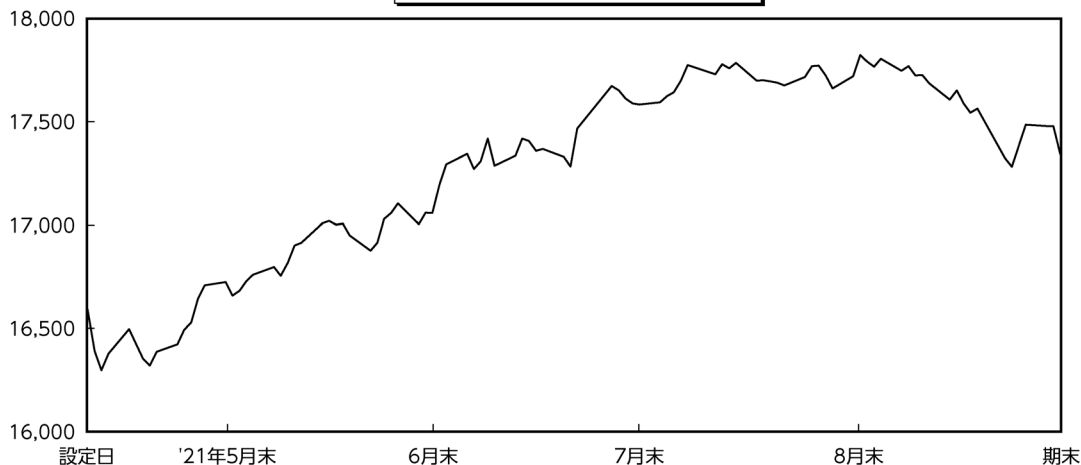
◆パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン（為替ヘッジあり） / （為替ヘッジなし） 運用報告書

投資環境	1
運用経過	3
今後の市況見通しと運用方針	7
パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン（為替ヘッジあり）	
◆設定以来の運用実績	8
◆当期中の基準価額の推移	8
◆1万口（元本10,000円）当たりの費用明細	9
◆＜参考情報＞総経費率	9
◆売買および取引の状況	10
◆利害関係人との取引状況等	10
◆組入資産の明細	10
◆投資信託財産の構成	10
◆資産、負債、元本および基準価額の状況	11
◆損益の状況	11
パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン（為替ヘッジなし）	
◆設定以来の運用実績	12
◆当期中の基準価額の推移	12
◆1万口（元本10,000円）当たりの費用明細	13
◆＜参考情報＞総経費率	13
◆売買および取引の状況	14
◆利害関係人との取引状況等	14
◆組入資産の明細	14
◆投資信託財産の構成	14
◆資産、負債、元本および基準価額の状況	15
◆損益の状況	15
＜補足情報＞	
◆組入資産の明細	16
V L グローバルバランスマザーファンド運用報告書	17

投資環境

（2021年5月11日～2021年9月29日）

参考指数の推移



<株式市場>

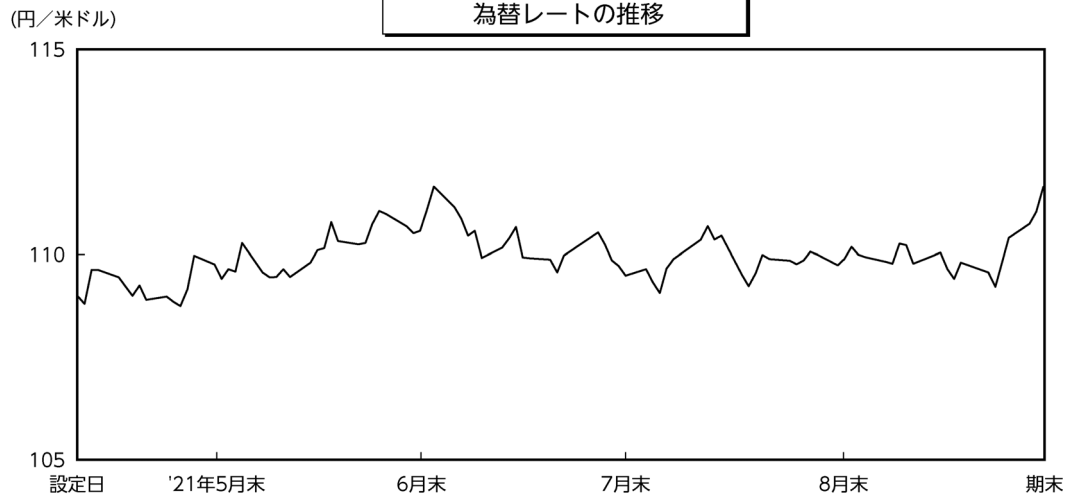
株式市場は、期を通して各国の金融緩和政策や財政政策に下支えされ、堅調に推移しました。期の半ばには新型コロナウイルス感染者数再拡大による景気減速懸念や、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融政策に対するタカ派的な姿勢、中国当局による規制導入に対する不透明感などを受けて株価が調整する局面があったものの、期首から上昇して期末を迎えました。

<債券市場>

米国長期金利は、期首では物価上昇懸念や力強い景気回復期待を受けて2020年2月以来の高水準であったものの、物価上昇圧力が一過性であるという見方が市場に浸透したことや変異株による景気減速懸念などから、金利は低下しました。その後、9月に入ると、テーパリング終了時期が2022年半ばと推測されたことやウイルス感染状況が改善していることなどを受けて金利が上昇したものの、期首からは低下して期末を迎えました。

ドイツ長期金利は、変異株感染拡大による再都市封鎖の懸念や中国当局による規制導入の影響などを受けて、低下しました。その後、堅調な経済指標やECB（欧州中央銀行）の量的緩和策の規模を減額することを発表したことなどを受けて金利は上昇したものの、期首と比較して金利は小幅に低下して期末を迎えました。

為替市場



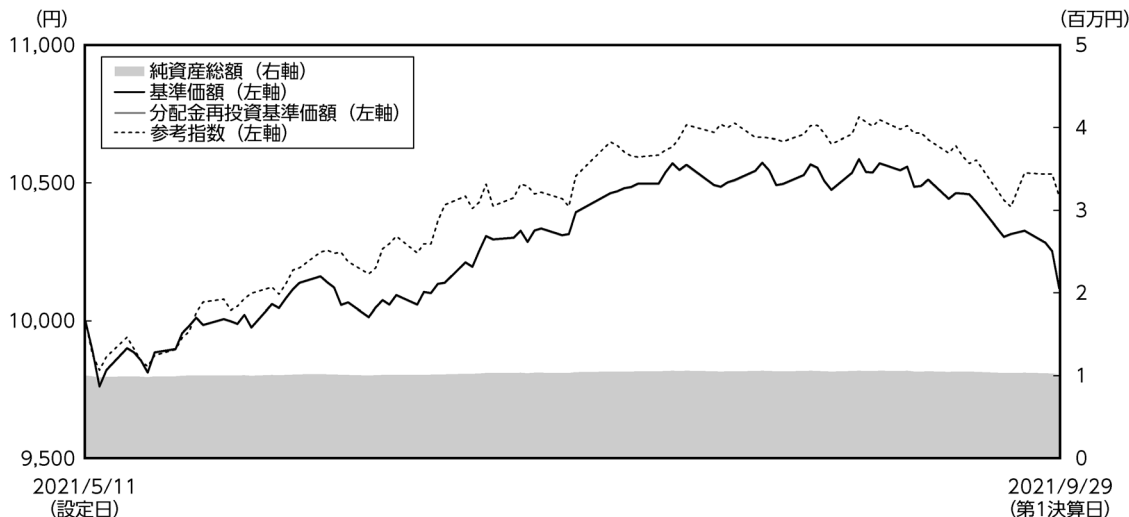
米ドル円は、ワクチン接種の遅れを背景に相対的に日本の経済活動が停滞する懸念から円安米ドル高が進みましたが、その後、変異株拡大や物価上昇に対する懸念が和らぎ米国長期金利が低下すると、円高米ドル安に反転しました。9月に入り、再び米国長期金利が上昇すると、米ドル高に転じ、期首からは円安米ドル高で期末を迎えました。

運用経過

（2021年5月11日～2021年9月29日）

パインブリッジ・デイリー・ミックス・オープン（為替ヘッジあり）

基準価額等の推移



期 首：10,000円

第1期末：10,118円

（作成対象期間中の既払分配金：0円）

騰落率：1.2%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象である「V Lグローバルバランスマザーファンド」の基準価額が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。組入先物について、主に米国株式、欧州株式の上昇、欧州債券、米国債券の金利低下がプラスに寄与しました。

分配金の状況

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して見送らせていただきました。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

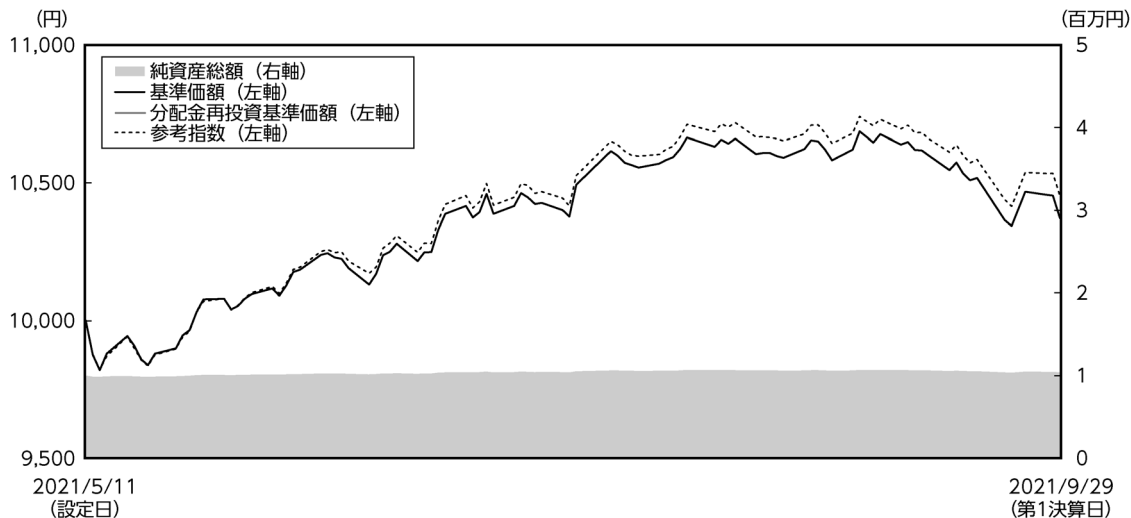
項 目	第1期
	2021年5月11日～2021年9月29日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	117

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

パインブリッジ・デイリー・ミックス・オープン（為替ヘッジなし）

基準価額等の推移



期 首：10,000円
 第1期末：10,372円
 (作成対象期間中の既払分配金：0円)
 騰落率：3.7% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象である「V L グローバルバランスマザーファンド」の基準価額が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。組入先物について、主に米国株式、欧州株式の上昇、欧州債券、米国債券の金利低下がプラスに寄与しました。為替については円安米ドル高の進行がプラスに寄与しました。

分配金の状況

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して見送らせていただきました。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項 目	第1期
	2021年5月11日～2021年9月29日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	372

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

運用経過

<為替ヘッジあり>

期中を通じて「V Lグローバルバランスマザーファンド」への投資を高位に維持しました。また、為替については、当ファンドの基本方針通りに、対円でのヘッジを行いました。

<為替ヘッジなし>

期中を通じて「V Lグローバルバランスマザーファンド」への投資を高位に維持しました。

<マザーファンド>

リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20%程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指しました。

今後の市況見通しと運用方針

今後の市況見通し

引き続き変異株による懸念はあるものの、各国でワクチン接種が進んでいることから経済活動正常化が進展し、各国における相対的に緩和的な財政政策や低金利環境が株式市場を下支えすると見えています。

一方で、今後景気回復が進むなか、金融緩和政策の正常化などの議論が進み、各国金利上昇圧力が生じると考えられます。今後、これらの金融政策の方向性や、中国市場における政策・規制動向の不透明感によって、市場の変動率が高まる可能性があります。引き続き、景気回復の進展度合いや、政府・中央銀行による政策方針の変化などに注視し、運用してまいります。

運用方針

<為替ヘッジあり>

当ファンドの基本方針に従い、「V Lグローバルバランスマザーファンド」を高位に組入れ、安定した収益の確保を目指します。実質組入れの外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替のヘッジを行います。

<為替ヘッジなし>

当ファンドの基本方針に従い、「V Lグローバルバランスマザーファンド」を高位に組入れ、安定した収益の確保を目指します。

<マザーファンド>

リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20%程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い信託財産の中長期的な成長を目指します。

パインブリッジ・デイリー・ミックス・オープン（為替ヘッジあり）

◆設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式先物比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		騰落率				
(設定日)	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2021年5月11日	10,000	—	—	16,593	—	—	—	—	1
第1期(2021年9月29日)	10,118	0	1.2	17,345	4.5	50.7	151.6	61.5	1

(注1) 設定日の基準価額は当初設定の投資元本です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式先物比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です（以下同じ）。

◆当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式先物比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率			
(期首)	円	%		%	%	%	%
2021年5月11日	10,000	—	16,593	—	—	—	—
5月末	10,006	0.1	16,725	0.8	44.4	154.3	59.8
6月末	10,100	1.0	17,059	2.8	43.1	155.2	59.7
7月末	10,497	5.0	17,583	6.0	43.1	149.5	57.5
8月末	10,587	5.9	17,823	7.4	48.0	145.4	58.1
(期末)							
2021年9月29日	10,118	1.2	17,345	4.5	50.7	151.6	61.5

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式先物比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

（2021年5月11日～2021年9月29日）

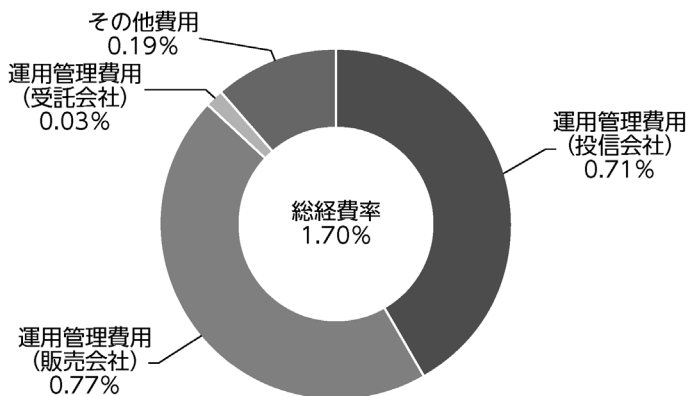
項目	第1期 (2021.5.11～2021.9.29)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	61円	0.591%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,297円です。
（投信会社）	(29)	(0.278)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
（販売会社）	(31)	(0.300)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	4	0.039	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	(1)	(0.005)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(3)	(0.033)	
その他費用	8	0.073	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人に支払われる当ファンドの監査費用
（印刷）	(3)	(0.032)	印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・届出・交付に係る費用
（その他）	(4)	(0.039)	証拠金利息
合計	73円	0.703%	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報> 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◆売買および取引の状況

(2021年5月11日～2021年9月29日)

【親投資信託受益証券の設定、解約状況】

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
VLグローバルバランスマザーファンド	千口 618	千円 1,015	千口 23	千円 41

(注) 単位未満は切捨て。

◆利害関係人との取引状況等

(2021年5月11日～2021年9月29日)

【パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン (為替ヘッジあり)】

当期における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

【VLグローバルバランスマザーファンド】

当期における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆組入資産の明細

(2021年9月29日現在)

【親投資信託残高】

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
VLグローバルバランスマザーファンド	千口 594	千円 1,017

(注) 単位未満は切捨て。

◆投資信託財産の構成

(2021年9月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
VLグローバルバランスマザーファンド	千円 1,017	% 98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	1,031	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) VLグローバルバランスマザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(53,001,153千円)の投資信託財産総額(55,458,030千円)に対する比率は95.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=111.65円、1ユーロ=130.41円、1英国ポンド=151.15円です。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

（2021年9月29日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	2,056,267
コール・ローン等	13,981
V Lグローバルバランス マザーファンド(評価額)	1,017,612
未 収 入 金	1,024,674
(B) 負 債	1,044,491
未 払 金	1,038,196
未 払 信 託 報 酬	5,966
そ の 他 未 払 費 用	329
(C) 純資産総額(A - B)	1,011,776
元 本	1,000,000
次 期 繰 越 損 益 金	11,776
(D) 受 益 権 総 口 数	1,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,118円

<注記事項（当運用報告書作成時点では監査未了です。）>

期首元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円
1口当たり純資産額	1.0118円

◆損益の状況

（2021年5月11日～2021年9月29日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	18,071
売 買 益	45,309
売 買 損	△ 27,238
(B) 信託報酬等	△ 6,295
(C) 当期損益金(A + B)	11,776
(D) 計 (C)	11,776
(E) 収益分配金	0
次期繰越損益金(D + E)	11,776
分配準備積立金	11,776

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(分配金の計算過程)

	第1期
a.配当等収益(費用控除後)	244円
b.有価証券売買損益(費用控除後)	11,532円
c.信託約款に規定する収益調整金	0円
d.信託約款に規定する分配準備積立金	0円
e.分配対象収益(a+b+c+d)	11,776円
f.分配金	0円
g.分配金(1万口当たり)	0円

パインブリッジ・デイリー・ミックス・オープン（為替ヘッジなし）

◆設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式先物比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		騰落率				
(設定日)	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2021年5月11日	10,000	—	—	16,593	—	—	—	—	1
第1期(2021年9月29日)	10,372	0	3.7	17,345	4.5	50.2	150.2	61.0	1

(注1) 設定日の基準価額は当初設定の投資元本です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式先物比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です（以下同じ）。

◆当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式先物比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率			
(期首)	円	%		%	%	%	%
2021年5月11日	10,000	—	16,593	—	—	—	—
5月末	10,079	0.8	16,725	0.8	44.0	153.2	59.3
6月末	10,249	2.5	17,059	2.8	43.0	154.8	59.5
7月末	10,555	5.6	17,583	6.0	44.3	153.8	59.1
8月末	10,687	6.9	17,823	7.4	49.1	148.5	59.4
(期末)							
2021年9月29日	10,372	3.7	17,345	4.5	50.2	150.2	61.0

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式先物比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

（2021年5月11日～2021年9月29日）

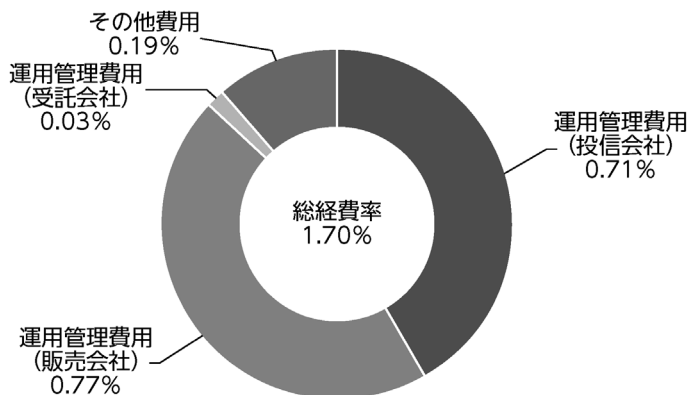
項 目	第1期 (2021.5.11～2021.9.29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0.591%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,392円です。
（投信会社）	(29)	(0.278)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
（販売会社）	(31)	(0.300)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	4	0.039	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	(1)	(0.005)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(3)	(0.034)	
その他費用	8	0.074	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人に支払われる当ファンドの監査費用
（印刷）	(3)	(0.031)	印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・届出・交付に係る費用
（その他）	(4)	(0.040)	証拠金利息
合 計	73円	0.704%	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報> 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◆売買および取引の状況

(2021年5月11日～2021年9月29日)

【親投資信託受益証券の設定、解約状況】

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
VLグローバルバランスマザーファンド	千口 604	千円 990	千口 -	千円 -

(注) 単位未満は切捨て。

◆利害関係人との取引状況等

(2021年5月11日～2021年9月29日)

【パインブリッジ・デیلیー・ミックス・オープン（為替ヘッジなし）】

当期における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

【VLグローバルバランスマザーファンド】

当期における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆組入資産の明細

(2021年9月29日現在)

【親投資信託残高】

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
VLグローバルバランスマザーファンド	千口 604	千円 1,033

(注) 単位未満は切捨て。

◆投資信託財産の構成

(2021年9月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
VLグローバルバランスマザーファンド	千円 1,033	% 99.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10	1.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,043	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) VLグローバルバランスマザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(53,001,153千円)の投資信託財産総額(55,458,030千円)に対する比率は95.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=111.65円、1ユーロ=130.41円、1英国ポンド=151.15円です。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

（2021年9月29日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	1,043,622
コール・ローン等	10,000
V Lグローバルバランス マザーファンド(評価額)	1,033,622
(B) 負 債	6,374
未払信託報酬	6,044
その他未払費用	330
(C) 純資産総額(A - B)	1,037,248
元 本	1,000,000
次期繰越損益金	37,248
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,372円

<注記事項（当運用報告書作成時点では監査未了です。）>

期首元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円
1口当たり純資産額	1.0372円

◆損益の状況

（2021年5月11日～2021年9月29日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	43,622
売 買 益	43,622
(B) 信託報酬等	△ 6,374
(C) 当期損益金(A + B)	37,248
(D) 計 (C)	37,248
(E) 収益分配金	0
次期繰越損益金(D+E)	37,248
分配準備積立金	37,248

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(分配金の計算過程)

	第1期
a.配当等収益(費用控除後)	327円
b.有価証券売買損益(費用控除後)	36,921円
c.信託約款に規定する収益調整金	0円
d.信託約款に規定する分配準備積立金	0円
e.分配対象収益(a+b+c+d)	37,248円
f.分配金	0円
g.分配金(1万口当たり)	0円

<補足情報>

◆組入資産の明細

(2021年9月29日現在)

下記は、V L グローバルバランスマザーファンド全体(31,389,439千口)の内容です。

【外国投資信託証券】

銘 柄		当期末		
		口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		口	千米国ドル	千円
ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BOND		3,420,000	294,462	32,876,682
合 計	口 数 ・ 金 額	3,420,000	294,462	32,876,682
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	-	<61.2%>

(注1) 邦貨換算金額は、2021年9月29日の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

【先物取引の銘柄別期末残高】

銘 柄 別			当期末	
			買建額	売建額
国内	株式先物取引	日経225	百万円 1,332	百万円 -
		外	株式先物取引	S&P500 EMINI DJ EURO S 50 FTSE 100 IDX
外国	債券先物取引	EURO-BUND FU	40,470	-
		US 10YR NOTE	40,512	-

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 邦貨換算金額は、2021年9月29日の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

V L グローバルバランスマザーファンド 運用報告書《第5期》

決算日 2021年3月29日
(計算期間：2020年3月31日～2021年3月29日)

受益者のみなさまへ

「V L グローバルバランスマザーファンド」は、2021年3月29日に第5期の決算を行いました。以下、当マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	<ul style="list-style-type: none">① リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20％程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指します。② 参照指数は、先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。
主要運用対象	先進国株式の株価指数先物と先進国債券の債券先物を主要投資対象とします。また米国短期国債に投資する投資信託証券や米国株式指数のプット・オプションにも投資を行います。なお、株式、公社債、短期金融資産に直接投資することもできます。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">① 株式への投資割合には、制限を設けません。② 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。③ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。④ デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。

◆設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 先物比率	債券 先物比率	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率		騰落率				
(設定日) 2016年8月9日	円 10,000	% -		% -	% -	% -	% -	百万円 498
第1期(2017年3月29日)	11,045	10.5	11,086	10.9	78.2	121.0	59.7	4,776
第2期(2018年3月29日)	11,442	3.6	11,588	4.5	32.7	165.0	59.6	9,294
第3期(2019年3月29日)	13,364	16.8	13,595	17.3	44.6	153.7	58.3	14,297
第4期(2020年3月30日)	14,475	8.3	14,652	7.8	25.3	171.9	59.8	15,920
第5期(2021年3月29日)	16,181	11.8	16,376	11.8	42.9	155.9	59.9	36,194

◆当期中の基準価額と市況等の推移

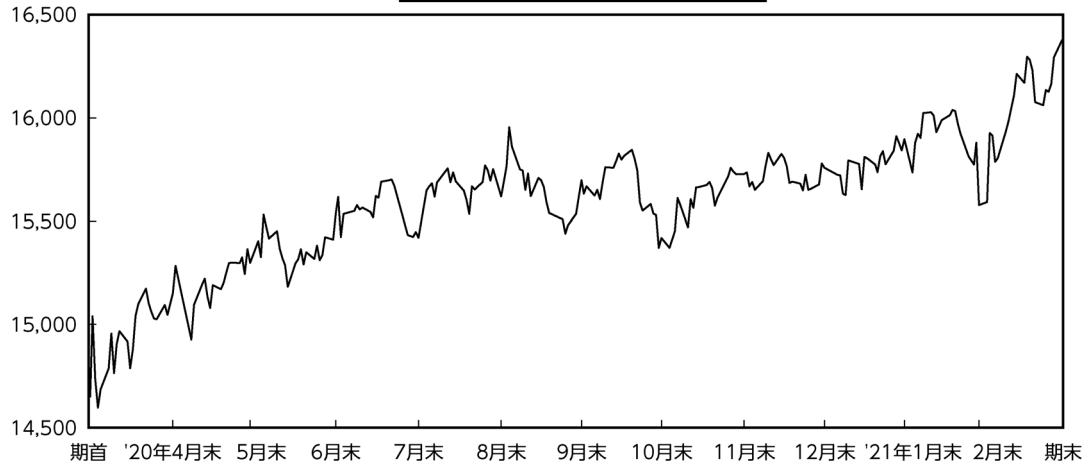
年月日	基準価額		参考指数		株式 先物比率	債券 先物比率	投資信託証券 組入比率
	円	騰落率		騰落率			
(期首) 2020年3月30日	円 14,475	% -		% -	% 25.3	% 171.9	% 59.8
3月末	14,876	2.8	15,040	2.6	25.7	171.4	58.7
4月末	15,012	3.7	15,151	3.4	24.0	173.4	57.0
5月末	15,158	4.7	15,299	4.4	23.5	174.9	57.3
6月末	15,380	6.3	15,537	6.0	24.2	174.4	56.5
7月末	15,250	5.4	15,420	5.2	27.9	171.6	56.4
8月末	15,434	6.6	15,620	6.6	31.1	168.1	57.8
9月末	15,517	7.2	15,697	7.1	32.3	165.5	57.4
10月末	15,220	5.1	15,419	5.2	27.4	172.6	58.5
11月末	15,538	7.3	15,727	7.3	27.9	170.9	61.4
12月末	15,555	7.5	15,758	7.5	32.7	167.1	59.9
2021年1月末	15,674	8.3	15,896	8.5	42.3	156.9	59.0
2月末	15,369	6.2	15,577	6.3	38.8	162.4	61.3
(期末) 2021年3月29日	円 16,181	% 11.8		% 11.8	% 42.9	% 155.9	% 59.9

(注) 騰落率は期首比です。

投資環境

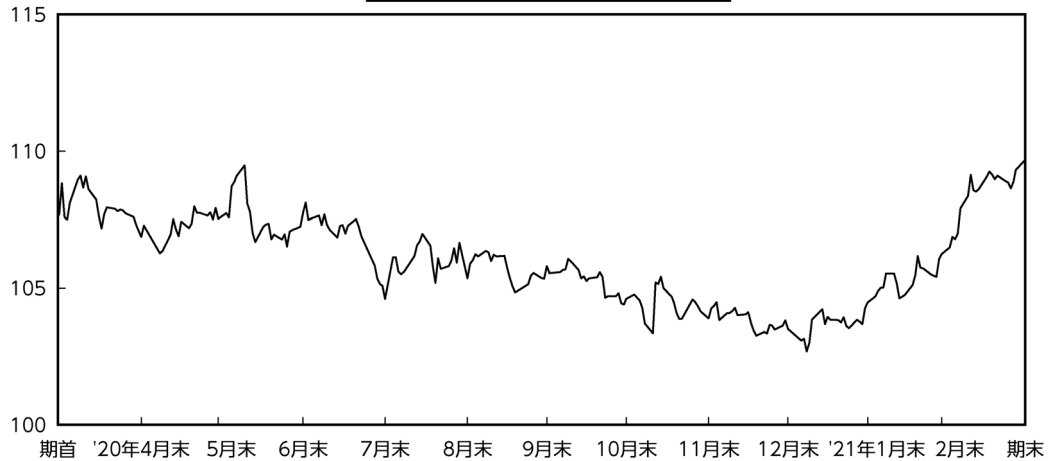
(2020年3月31日～2021年3月29日)

参考指数の推移



(円/米ドル)

為替レートの推移



<投資環境>

株式市場は、期を通して各国の金融緩和政策や財政政策に下支えされ、堅調に推移しました。期の半ばには、新型コロナウイルス感染者数拡大に伴い主要都市での都市封鎖に対する懸念や米国大統領選の結果に対する不透明感から、株価が調整する局面がありました。その後、ワクチン開発・接種の進展や追加財政政策による景気回復期待を背景に、株価は上昇基調となり、前期末から上昇して期末を迎えました。

米国長期金利は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な景気先行き懸念から、期首から2020年9月までは低位で推移しました。その後、ワクチン開発、米国における財政政策への期待から上昇基調に転じました。2021年に入ると、米国新政権による追加経済対策やワクチン接種の早い進展を背景に、強い景気回復期待や財政赤字拡大に対する懸念から金利はさらに上昇し、10年国債利回りは1.7%を超えて、期末を迎えました。

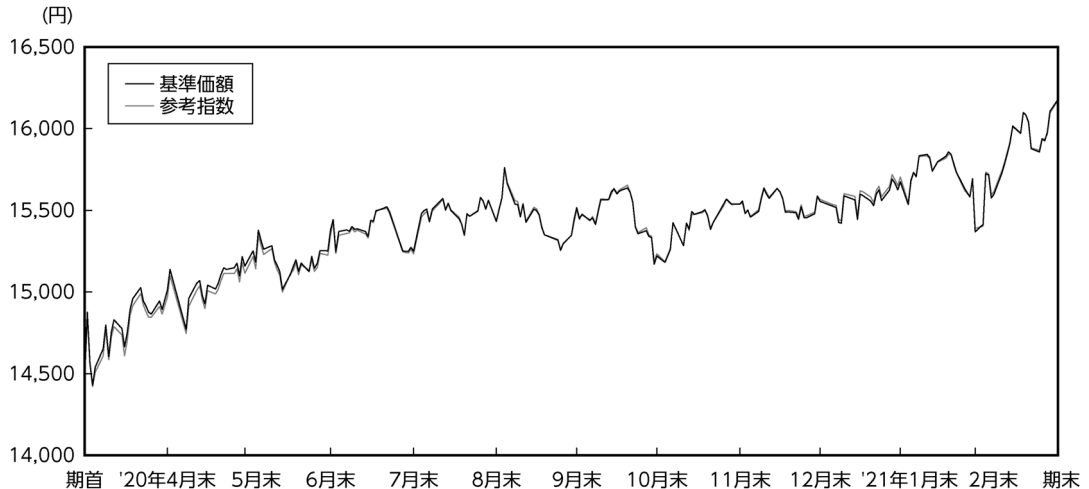
ドイツ長期金利は、ECBの量的緩和策の規模拡大を受けた景気回復期待から、6月には上昇する場面もあったものの、都市閉鎖による景気回復への影響が懸念されたことから、低下基調で推移しました。さらに年末にかけて、新型コロナウイルス感染者数の再増加などを受けて再び低下しました。その後2021年には、感染者増に反して、米国金利上昇の影響を受け上昇に転じ、期首と比較して金利は上昇して期末を迎えました。

米ドル円は、大規模な金融緩和政策と財政政策の迅速な投入や、新型コロナウイルスワクチンの開発・接種拡大による景気回復期待を背景に、安全通貨として保有されていた米ドルがリスク選好の観点から売られ、2021年1月にかけて一時102円台まで円高が進みました。しかしその後は景気回復期待の高まり、財政赤字懸念を背景に米国金利が上昇すると、米ドル高に転じ、期首からは円安米ドル高で期末を迎えました。

運用経過

(2020年3月31日～2021年3月29日)

基準価額の推移



※上記グラフの参考指数は、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

基準価額は上昇しました。組入先物について、主に米国株式、欧州株式の上昇がプラスに寄与しました。為替については、円安米ドル高の進行がプラスに寄与しました。随時、市場のボラティリティに合わせ配分比率を見直しました。

今後の市況見通しと運用方針

リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20%程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指します。

◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

(2020年3月31日～2021年3月29日)

項 目	第5期 (2020.3.31～2021.3.29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
			期中の平均基準価額は15,331円です。
売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	15円 (3) (12)	0.097% (0.018) (0.079)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用) (その他)	34 (1) (33)	0.219 (0.007) (0.212)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用 証拠金利息
合 計	49円	0.316%	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

◆売買および取引の状況

(2020年3月31日～2021年3月29日)

【投資信託証券】

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	□	千米国ドル	□	千米国ドル
		1,269,000	109,677	-	-

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆派生商品の取引状況等

(2020年3月31日～2021年3月29日)

【先物取引の銘柄別取引・残高状況】

銘 柄 別			買 建		売 建		当期末評価額		
			新 規 買付額	決 済 額	新 規 売付額	決 済 額	買建額	売建額	評価損益
国 内	株式先物取引	日 経 2 2 5	百万円 1,981	百万円 1,573	百万円 -	百万円 -	百万円 756	百万円 -	百万円 6
外 国	株式先物取引	S&P500 EMINI	36,536	30,236	-	-	11,735	-	45
		FTSE 100 IDX	2,019	1,667	-	-	737	-	△5
		DJ EURO S 50	6,691	5,490	-	-	2,296	-	11
	債券先物取引	US 10YR NOTE	95,582	80,834	-	-	28,226	-	△454
		EURO-BUND FU	99,175	86,184	-	-	28,200	-	122

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

◆主要な売買銘柄

(2020年3月31日～2021年3月29日)

【投資信託証券】

買 付			売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	銘 柄	□ 数	金 額
	□	千円		□	千円
ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BOND(アメリカ)	1,269,000	11,528,645	-	-	-

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆利害関係人との取引状況等

(2020年3月31日～2021年3月29日)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆組入資産の明細

(2021年3月29日現在)

【外国投資信託証券】

銘 柄	□ 数	金 額	期首(前期末)	当 期 末		
			□ 数	□ 数	評 価 額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	□	□	千米国ドル	千円		
ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BOND	1,021,000	2,290,000	197,627	21,665,848		
合 計	□ 数	金 額	1,021,000	2,290,000	197,627	21,665,848
	銘 柄 数 < 比 率 >		1	1	-	<59.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

【先物取引の銘柄別期末残高】

銘柄別			当期末	
			買建額	売建額
国内	株式先物取引	日経225	百万円 756	百万円 -
		外	S&P500 EMINI	11,735
DJ EURO S 50	2,296		-	
FTSE 100 IDX	737		-	
国	債券先物取引	EURO-BUND FU	28,200	-
		US 10YR NOTE	28,226	-

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

◆投資信託財産の構成

(2021年3月29日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	21,665,848	58.9
コール・ローン等、その他	15,140,072	41.1
投資信託財産総額	36,805,920	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(35,534,282千円)の投資信託財産総額(36,805,920千円)に対する比率は96.5%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米国ドル=109.63円、1ユーロ=129.11円、1英国ポンド=151.02円です。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	42,847,908,340
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,927,202,605
投 資 証 券 (評 価 額)	21,665,848,010
未 収 入 金	6,246,717,023
差 入 委 託 証 拠 金	8,008,140,702
(B) 負 債	6,653,677,452
未 払 金	6,643,676,981
未 払 解 約 金	10,000,000
未 払 利 息	471
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	36,194,230,888
元 本	22,367,808,690
次 期 繰 越 損 益 金	13,826,422,198
(D) 受 益 権 総 口 数	22,367,808,690口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,181円

<注記事項>

期首元本額	10,999,166,401円
期中追加設定元本額	12,987,880,399円
期中一部解約元本額	1,619,238,110円
1口当たり純資産額	1.6181円

期末における元本の内訳

V Lグローバルバランスファンド<米ドルコース>(適格機関投資家向け)	12,977,254,160円
パインブリッジ変動抑制型マルチアセット・ファンド(適格機関投資家専用)	5,662,754,552円
V Lグローバルバランスファンド<豪ドルコース>(適格機関投資家向け)	3,727,799,978円

◆損益の状況

(2020年3月31日～2021年3月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	85,036,245
受 取 配 当 金	84,474,624
受 取 利 息	162,702
そ の 他 収 益 金	534,189
支 払 利 息	△ 135,270
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,002,506,480
売 買 益	1,724,663,677
売 買 損	△ 722,157,197
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	1,666,298,832
取 引 益	3,400,641,658
取 引 損	△ 1,734,342,826
(D) 信 託 報 酬 等	△ 49,876,602
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)	2,703,964,955
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	4,921,634,532
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	7,088,208,601
(H) 解 約 差 損 益 金	△ 887,385,890
(I) 計 (E + F + G + H)	13,826,422,198
次 期 繰 越 損 益 金 (I)	13,826,422,198

- (注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) (D)信託報酬等は、外貨建て資産の保管費用等のことです。
- (注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。